

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-12 (為替ヘッジあり) (愛称:メジャー・カンパニーズ15-12) 第1期分配金は100円(1万口当たり、税引前)

2016年7月25日

平素は、『コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-12(為替ヘッジあり)(愛称:メジャー・カンパニーズ15-12)』をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当ファンドは、2016年7月22日に第1期計算期末を迎え、当期の収益分配金につきまして、組み入れているハイブリッド証券の利回り水準や配当等収益の水準、基準価額の水準等を総合的に勘案し、100円(1万口当たり、税引前)と致しましたことをご報告申し上げます。

なお、当ファンドの分配方針は以下のとおりとなっています。

- ① 分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とします。
- ② 原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

《基準価額・純資産・分配の推移》

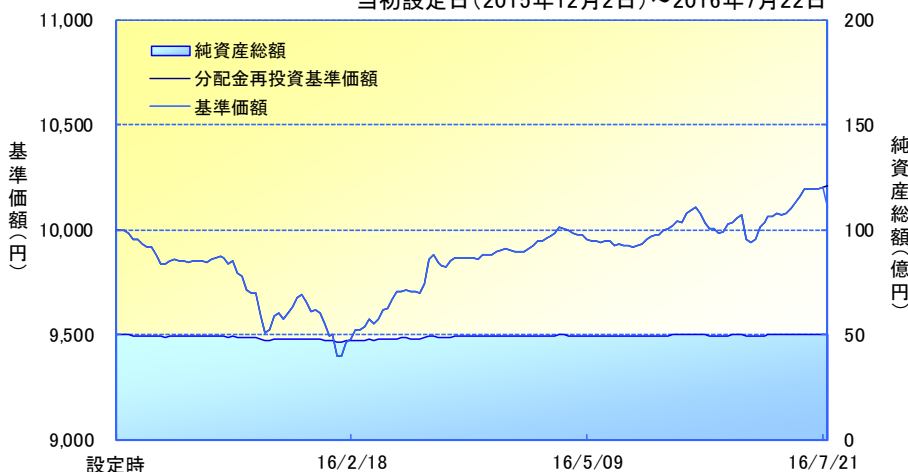
2016年7月22日現在

基準価額	10,106円
純資産総額	49億円

当初設定日(2015年12月2日)～2016年7月22日

《分配の推移》(1万口当たり、税引前)

決算期	(年/月/日)	分配金
第1期	(16/7/22)	100円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
分配金合計額	設定来: 100円	



※「分配金再投資基準価額」は、分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用(信託報酬)は控除しています(後述のファンドの費用をご覧ください)。

※上記は過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

※分配金額は、決算の都度、収益分配方針に基づいて委託会社(大和投資信託)が決定しますので、将来の分配金額について、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。今後の市場環境や運用状況によっては、分配金額の変更あるいは分配金が支払われない場合もあります。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

《ファンドマネージャーのコメント》

※現時点での投資判断を示したものであり、将来の市況環境の変動等を保証するものではありません。

※以下のコメントは、ニューバーガー・バーマン・インベストメント・アドバイザーズLLCが提供するコメントを基に大和投資信託が作成したものです。

【基準価額の推移】

当ファンドの設定日(2015年12月2日)以降、2016年初にかけては、金融市場全体のリスク回避の動きによって、コーポレート・ハイブリッド証券を含むクレジット市場の利回り水準が国債利回りと比較して全般に上昇したことを背景に、当ファンドのパフォーマンスは軟調に推移しました。

しかし、2016年2月後半以降、エネルギー価格の安定化や、ECB(欧州中央銀行)による社債購入プログラムをはじめとする追加緩和策、FRB(米国連邦準備制度理事会)による追加金融引き締めの見送り、新興国からの資金流出懸念の後退などから市場全体のセンチメントは回復を見せています。コーポレート・ハイブリッド証券市場においては、バリュエーション指標を見直す動きなどから価格の反発が見られ、足元にかけてパフォーマンスは堅調に推移しています。

6月後半には、英国の国民投票でEU(欧州連合)離脱派が多数となったことを受けて、当ファンドも一時的に軟調に推移する局面がありました。しかし、ECBによる市場安定化に向けた緩和的な施策が今後も継続されるという期待もあって、金融市場混乱の長期化や世界経済に対する過度の悲観は薄れつつあります。市場が落ち着きを取り戻すとともに株式などリスク資産への投資も回復を示しており、コーポレート・ハイブリッド証券市場も堅調な展開となっています。

【今後の見通し】

コーポレート・ハイブリッド証券市場は、英国のEU離脱問題を受けて短期的には軟調に推移する可能性があります。しかし、コーポレート・ハイブリッド証券の利回り水準は、国債利回りと比較して引き続き魅力的な水準にあると考えており、市場のセンチメントが正常化する中で、割安感を見直す動きから国債との利回り格差は縮小する方向に向かっていくとみています。

また、普通社債の利回りが低水準で推移する中では、相対的に高いインカム水準を提供しているコーポレート・ハイブリッド証券に対する投資家のニーズが強く見られ、こうした需要が本資産クラスを下支えすると考えています。

今後の運用に際しては、現状のポートフォリオを基本として利回りの実現を重視する方針です。また、ベースとなるソブリン・リスク(国の信用リスク)が安定している国の大手企業が発行するハイブリッド証券を軸とした投資を継続し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。

以上

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-12 (為替ヘッジあり) (愛称:メジャー・カンパニーズ15-12)

ご購入の申し込みはできません。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

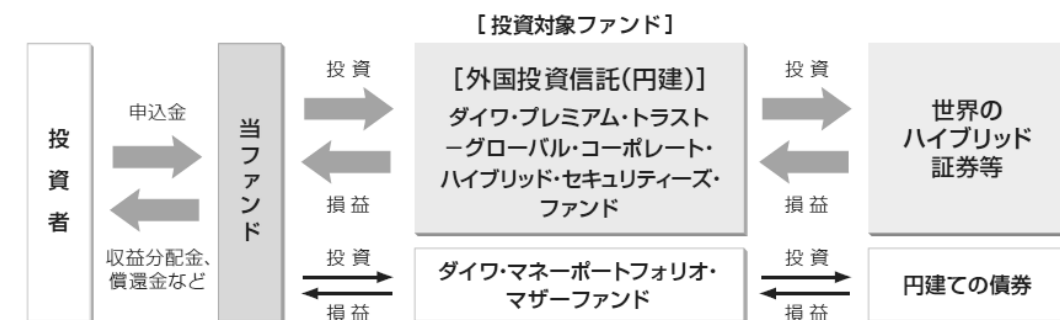
- 世界のハイブリッド証券等に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の企業が発行するハイブリッド証券等に投資します。
 - ◆証券の格付けは、取得時において投資適格の格付けを有する銘柄を中心に投資します。
 - ◆信託期間内に償還が見込まれる証券を中心に投資します。
 - ※ハイブリッド証券が満期もしくは繰上償還した後に、ファンドが再投資する際は、普通社債および先進国の国債等に投資することがあります。
 - ◆運用は、ニューバーガー・パーマン・インベストメント・アドバイザーズLLCが行ないます。

ハイブリッド証券とは

- ハイブリッド証券とは、債券と株式の性質を併せ持つ（ハイブリッド）証券であり、劣後債、優先証券等があります。
 - 一般に国債や社債と比較して、信用リスクやハイブリッド証券固有のリスクにより、利回りが高いという特徴があります。
 - ※ハイブリッド証券固有のリスクには、法的弁済順位が劣後するリスク、繰上償還延期リスク、利払繰延リスクなどがあります。
2. 為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。
 3. 当ファンドは、以下の2本の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。



※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「ハイブリッド証券の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「ハイブリッド証券固有のリスク（劣後リスク（法的弁済順位が劣後するリスク）・繰上償還延期リスク・利払繰延リスク）」、「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「特定の業種への集中投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込に伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ハイブリッド証券に関する規制や基準の変更等がハイブリッド証券市場に大きな影響を及ぼす可能性があります。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-12
(為替ヘッジあり)
(愛称:メジャー・カンパニーズ15-12)

ご購入の申し込みはできません。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購 入 時 手 数 料	ご購入の申し込みは できません。	—
信 託 財 産 留 保 額	0.2%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられる額。換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運 用 管 理 費 用 (信 託 報 酬)	年率 1.053% (税抜 0.975%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。運用管理費用は、毎計算期末、途中換金および信託終了のときに信託財産中から支弁します。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.42%程度 ただし、この他に「ダイワ・プレミアム・トラスト・グローバル・コーポレート・ハイブリッド・セキュリティーズ・ファンド」全体に対して、固定報酬として年額 12,500 米ドルがかかります。	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運 用 管 理 費 用	年率 1.473% (税込) 程度 (純資産総額によっては上回る場合があります。)	
そ の 他 の 費 用 ・ 手 数 料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。
※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

コーポレート・ハイブリッド証券ファンド2015-12（為替ヘッジあり）（愛称：メジャー・カンパニーズ15-12） 取扱い販売会社

販売会社名（業態別、50音順） （金融商品取引業者名）		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
株式会社大分銀行	登録金融機関	九州財務局長(登金)第1号	○			
株式会社沖縄銀行	登録金融機関	沖縄総合事務局長(登金)第1号	○			

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。